

独立行政法人国立病院機構岩国医療センターの 移転に関する要望

独立行政法人国立病院機構岩国医療センターは、地域医療の中核を担う医療機関として、また、山口県東部では唯一の3次救急病院として救命救急センター、へき地中核病院、エイズ拠点病院に位置付けられている。

現在の岩国医療センターは、救急医療としての交通アクセスの問題から、救急医療に支障をきたし、救命救急センターとしての機能を十分果たすことができていない。また、現状の老朽化した施設では、医師の確保が次第に難しくなることから、愛宕山地域に移転新築することにより、これらの問題が解決し、高度医療の確保も可能となる。

平成20年4月から4疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿）5事業（救急、災害、へき地、周産期、小児）の医療連携体制を含む新たな「医療計画」がスタートし、地域の医療提供体制の充実を図ることが求められているところである。

ついては、こうした諸般の事情をご賢察の上、独立行政法人国立病院機構岩国医療センターがスムーズに愛宕山地域へ移転できるよう特段のご配慮をお願い申し上げます。

平成20年4月20日

岩国市長 福田良彦